

2014 年度 幾何入門「授業改善のためのアンケート」結果

担当：境 圭一

「授業改善のためのアンケート」に、50 名の方から回答をいただきました（うち 1 枚は無回答）。ありがとうございます。結果は以下の通りでした。

1. 全体的に見て、この授業の内容は、授業によって達成しようとしている目標に、ふさわしいものである

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
1	0	8	27	13

2. この授業はシラバスから大幅に逸脱することなく実施されている

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
0	0	7	31	11

3. この授業では、理学部のカリキュラム全体の教育目標に沿った授業内容が提供されている

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
0	0	8	31	10

4. 参考書の提示など、この授業のための時間外学習の情報提供・指示が、シラバスや授業中の説明等で与えられている

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
1	2	11	24	11

5. この授業の達成目標である、探求の仕方・姿勢、知識や技術などを、あなた自身は獲得できると思う

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
0	5	13	22	9

6. この授業では、担当教員の学問的・専門的識見が感じられる

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
1	0	7	22	19

7. この授業を理解するために、私は大変努力している

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
1	7	11	21	9

7. は今年から新たに追加された項目です。謙遜があるのかもしれませんが、もう少し「そう思う」側の回答が多くなってほしいものです。この講義に限らず、大学の数学は自分で考えないと決して身につけません。

自由記述に書いていただいた意見の一部を挙げておきます。

8. 「この授業について、改善すべきと思うことがありましたら書いてください」では、

- 「声が聞き取りづらい」という指摘がありました。これは教官の配慮不足が原因です。改善するよう努力したいと思います。教室が広いことも災いしているかもしれませんが、前のほうに座ることも検討していただければと思います。また、聞き取りづらい・読みづらいと感じたときは、他の人も同じように感じている可能性が高いので、講義の流れを遮っても構いませんから、もう一度説明するよう求めていただければと思います。
- 「演習やレポートの解答を作ってほしい」という要望がありました。これはいつもある要望ですが、あまり好ましいこととは考えていません。まず学生自身が考えて答案を作ってほしいと思います。そうすることで、わかっているところとそうでないところが明確になります。考えてもわからないところは、質問をしなければなりません。教員に質問すればよいわけですが、しづらいこともあるかもしれません。そんなときのための TA だったり、サイエンス・ラウンジだったりするわけです。

- 「やり方がわからない問題が多いので、基本的な例題をもっとやってほしい」という要望がありました。「基本的な例題」というのは(どの程度を指すのかにもよりますが)作りづらいのが正直なところです。逆に言うと、問題として出題できるパターンはあまり多くないとも言えます。最初からサラサラ解ける必要はないと思いますので、少し考えてみて見当がつかないようなら、積極的に質問をしてほしいと思います。
- 「演習が短い」という意見がありました。講義で扱うべき内容が多いので、演習はどうしても短くなりがちです。ご了承ください。短い時間ではありますが、最大限活用するため、どんどん質問してほしいと思います。苦言を呈するようですが、必ずしも全員が演習の時間を活用できているとは言えないので(スマホというのはよくないものですね)、むしろ短くしたほうがいいか、とも考えています。
- 「レポートを提出したら1点ください」という要望がありました。もちろんそういうわけにはいきません。内容次第です。注意として、レポートの採点は必ずしも厳密には行っていない場合があります。適当でないと思われる記述にはコメントをしています。少々不適当な記述があっても丸をつけていたりします(試験ではそうでなく、相応に厳しく見えています)。点数に一喜一憂するだけでなく、コメントをよく見てほしいと思います。

9. 「この授業について、教員がよい工夫をしていると感じられるものを書いてください」では、

- 「考えさせること」という記述がありました。この講義に限らず、大学の数学は自分で考えて初めて理解できます。よく考えてほしいと思います。その上でわからなくなったら、何でも質問に来てください。
- 「字が読みやすい」「図がきれい」といった記述がありました。書いている本人としてはむしろ逆の印象ですので、今後も見やすい黒板を心がけます。後でノートを読み返したときに話の流れも含めて講義を復元できるような板書をしているつもりです(そのぶん分量が増えて書くのは大変だと思います)。そうなっているか、皆さんの側でもチェックをお願いできればと思います。
- 「テストの解説・レポートの添削などが充実している」という記述がありました。上でも述べましたが、レポートなどのコメントは注意して見てほしいと思います。講義中の板書も、なるべく正しい日本語になるよう心掛けています。参考にしてみてください。
- 「定理の証明なのか、問題の解き方なのかを明確にしてほしい」という記述がありました。すみません、真意を測りかねたのですが、定理などの証明のときはそのように書くよう心掛けているつもりです。また、講義中はあくまで論理的な流れを話していて、あまり「問題の解き方」は解説していないと思います。

全体的に好意的な意見を多くいただきました。ありがとうございます。今後も意見・要望などをいただけましたら幸いです。

(6/13)